

事業主体者 会津若松市(観光課)

住所 福島県会津若松市東栄町3番46号

電話 0242-39-1251

URL <https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/>

### 事業概要

平成29年に会津若松市を訪れた観光客の総数は2,970千人で、前年比28千人の増加となったが、震災前と比較すると89.5%にとどまっている。

また平成29年のインバウンド(訪日外国人旅行)については、市内の宿泊合計数が11,757人で、対前年比139.7%と、増加している。

平成30年で戊辰戦争終結から150年を迎え、会津若松市では幕末を起点とした明治・大正・昭和・平成における会津の歴史的意義の再確認を図る大切な機会と捉え、市民が一体となって様々な取組を行った。

「VR幕末の会津若松」は、戊辰150周年に向けてのプレ事業として平成29年度から実施しているもので、幕末当時の若松城や城下町等の様子を歴史資料や研究資料をもとにデジタル技術を活用して再現し、天守閣内での鑑賞体験の機会を提供することで、観光客や天守閣への登閣者拡大を図るものである。

CGIにより再現された幕末の若松城や城下の様子を、3面マルチスクリーンにより再現する体感型シアターを設置し、ゴーグル

を装着せずにVR映像を視聴できるため、小さな子供も安心して映像を楽しめる。3種類のストーリーが用意しており、観客の要望に応じてストーリーを上映するマルチストーリーシステムを搭載している。

また、「AR幕末の会津若松」は、城郭内や会津若松市内において当時の風景等を再現できるARアプリを開発することで、まちなか観光の促進を図ることを目的としている。再現箇所を市内5か所に設置。

平成30年3月に3つの新機能を追加。その機能とは、①会津ゆかりの幕末キャラによる現地説明機能(6人のキャラクターが観光スポットを音声付きで解説)、②顔出し写真機能(QRコードを読み込むとキャラクターの顔の部分为空いたイラストが出現、ユーザーの顔を挿入して写真撮影ができる仕組み)、③AR看板設置場所までのルート案内機能(現在地からQRコード看板が設置場所までナビ表示)である。

VRとARのコンテンツは、平成28年6月から平成29年3月の期間で制作し、平成29年4月から公開している。

### 効果や課題

VRシアター来場者数は、平成30年10月7日に累計10万人に達した。登閣者の約1割がVRシアターを体験している。

ARアプリダウンロード数は、平成29年4月から平成30年12月の累計で約4,600回である。

VRシアターは、映像を投影するプロジェクターの定期的なメンテナンス費用が発生することから、継続的な予算確保が課題である。



「VR幕末の会津若松」  
鑑賞風景



「AR幕末の会津若松」  
画面イメージ



▼ タイトル映像イメージ



映像イメージ  
3種類のストーリーから観客の挙手による多数決で上映タイトルを決定する。(客席に向けられたセンサーによって挙手人数を機械が自動判定)



スマートフォンの画面上にキャラクターを登場させツーショットで撮影



スマートフォンの画面上にキャラクターを登場させ顔出し撮影

